

## 2026年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2025年7月9日

上場会社名 株式会社エービーシー・マート 上場取引所 東  
 コード番号 2670 URL <https://www.abc-mart.co.jp/ir/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野口 実  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 石井 寧大 (TEL) 0334765452  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年2月期第1四半期の連結業績(2025年3月1日~2025年5月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第1四半期	97,698	1.5	18,757	1.9	19,062	△0.6	12,953	△1.2
2025年2月期第1四半期	96,215	8.6	18,408	9.0	19,183	9.8	13,107	10.1

(注) 包括利益 2026年2月期第1四半期 7,981百万円(△49.9%) 2025年2月期第1四半期 15,938百万円(65.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第1四半期	52.31	—
2025年2月期第1四半期	52.93	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期第1四半期	432,543	368,567	84.7
2025年2月期	418,725	369,747	87.7

(参考) 自己資本 2026年2月期第1四半期 366,262百万円 2025年2月期 367,327百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	33.00	—	37.00	70.00
2026年2月期	—	—	—	—	—
2026年2月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日~2026年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	190,800	1.3	33,200	△2.5	34,250	△2.5	23,610	△2.2	95.35
通期	383,900	3.1	64,000	2.3	66,000	2.1	45,530	0.4	183.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社(社名) 、除外 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年2月期1Q	247,618,938株	2025年2月期	247,618,938株
② 期末自己株式数	2026年2月期1Q	2,296株	2025年2月期	2,248株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年2月期1Q	247,616,664株	2025年2月期1Q	247,616,751株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
決算データ資料	

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2025年3月1日から2025年5月31日まで)における事業環境は、企業収益の増加に伴う個人所得・雇用環境の改善やインバウンド需要の増加により、国内需要は緩やかに増加いたしました。一方で、地政学リスクの長期化、原材料価格やエネルギー価格の高止まり、米国の関税措置の今後の動向など、先行き不透明な状況が続いております。

シューズ業界におきましては、新作スニーカーを中心としたスポーツ系カジュアルに加え、手を使わなくても履けるハンズフリーシューズなど付加価値の高い商品の需要は拡大しております。

このような状況下、当社グループは、グランドステージと複合業態店舗の拡大、デジタルインフラの活用、スポーツシューズとスポーツアパレルを含めたライフスタイルカジュアルの拡充に対応してまいりました。店舗展開につきましては、当四半期は国内外合わせて20店舗の新規出店を行うことができました。当四半期末における当社グループの店舗数は1,501店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は前年同期比1.5%増の976億98百万円となりました。利益面につきましては、営業費用の圧縮に努めたことにより、営業利益は前年同期比1.9%増の187億57百万円となりました。経常利益につきましては、為替が円高に振れ、為替差損を計上したことから、前年同期比0.6%減の190億62百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比1.2%減の129億53百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### イ. 国内

販売戦略につきましては、SNSによるデジタル広告とテレビCMを効果的に使い分けて、実店舗への訴求効果を高める販売促進を実施いたしました。商品展開においては、ナショナルブランドの新作スニーカーの限定販売やハンズフリーシューズを中心にプロパー販売を強化してまいりました。一方で、各種フェアやゴールデンウィークに先駆けて実施したセールで消費の喚起を行い、トレンド志向と価格志向の双方のお客様のニーズに対応してまいりました。

店舗展開につきましては、当社単体が西日本のショッピングセンターを中心に、14店舗の新規出店、8店舗の閉店を行い、当四半期末時点における店舗数は1,087店舗となりました。連結子会社が運営する「OSHMAN'S」については、2店舗の出店により、20店舗となりました。これらの結果、国内店舗数は1,107店舗となりました。当四半期は、この春、銀座と大阪にインバウンドに対応した新しいショップ(リアル店舗をメディア化した発信型ショップ)「GRAND STAGE 4.0」を新規出店いたしました。既存店におきましては、スポーツアパレルの売り場面積を拡大していく中で、プレミアムステージなどの一部の業態を、グローバルに展開する「GRAND STAGE」や「ABC-MART」に変更し、集約していくことで、店舗業態の明確化を図り、また外国のお客様にストアブランドの認知度を向上させる取り組みを進めてまいりました。スタンダードの「ABC-MART」についても、環境にやさしい内装材を取り入れた2.0業態へのアップグレードを進めております。その結果、当四半期末時点で「GRAND STAGE」は115店舗、「ABC-MART SPORTS」は128店舗となりました。既存店の改装は国内で18店舗実施し、このうち増床改装は11店舗となりました。2バナー以上の複合業態の出店はリニューアルを中心に15店舗行い、132店舗となりました。

国内店舗(単体のみ)の売上高増収率につきましては、全店は前年同期比6.3%増、既存店は前年同期比5.8%増となりました。ハンズフリーシューズの拡販におけるプロパー販売が好調であったことと、各種フェアや前倒しで実施したセール施策が奏功したことから、客数、客単価ともに増加しました。

これらの結果、国内における売上高は前年同期比6.3%増の727億14百万円、セグメント利益は前年同期比9.1%増の176億45百万円となりました。

## ロ. 海外

海外の店舗展開につきましては、韓国に3店舗、台湾に1店舗の新規出店を行いました。当四半期末（2025年3月31日現在）の海外店舗数は、韓国319店舗、台湾62店舗、米国8店舗、ベトナム5店舗、計394店舗となりました。（閉店 韓国10店舗）

海外の業績につきましては、政治の混乱や国内経済の悪化により消費が低迷したことと、為替が円安から円高水準へ移行したことが大きく影響し、いずれの国においても減収減益となりました。為替については、前年同期と比べ、アジアは円高、米国は円安で推移しました。韓国の売上高は、前年同期比8.2%減の157億63百万円、台湾の売上高は、前年同期比2.0%減の33億38百万円となりました。主にレザーシューズの製造販売を行っている米国につきましても、売上高は前年同期比7.8%減の68億20百万円となりました。ベトナムにつきましては連結業績へ与える影響は軽微であります。なお、海外連結子会社はいずれも12月決算であります。

これらの結果、海外における売上高は前年同期比7.2%減の260億99百万円、セグメント利益は前年同期比51.5%減の10億74百万円となりました。

## 品目別販売実績

品目別	前第1四半期連結累計期間 (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (百万円)	前年同期比(%)
スポーツ	57,517	58,701	2.1
レザーカジュアル	12,263	11,824	△3.6
キッズ	7,406	8,275	11.7
サンダル	4,370	3,652	△16.4
レディース	4,355	4,253	△2.3
ビジネス	2,955	2,845	△3.7
ウェアその他	5,494	6,312	14.9
その他	1,853	1,833	△1.1
売上高合計	96,215	97,698	1.5

(注) 上記金額は、国内及び海外の合計で表示しております。

## (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

## 資産、負債及び純資産の状況

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ84億20百万円増加し、3,259億21百万円となりました。主な要因は、仕入の増加による棚卸資産の増加116億27百万円等によるものであります。

固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ53億98百万円増加し、1,066億22百万円となりました。主な要因は、韓国における店舗用不動産と関連施設の取得や新規出店及び改装に伴う有形固定資産の増加等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ149億99百万円増加し、639億76百万円となりました。主な要因は、仕入の増加に伴う支払手形及び買掛金の増加138億78百万円及び未払法人税等の支払による減少35億29百万円等によるものであります。なお、当四半期末日は金融機関の休日であったため、期末日満期手形と電子記録債務が29億14百万円、支払手形及び買掛金に含まれております。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ11億80百万円減少し、3,685億67百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加37億92百万円及び円高による為替換算調整勘定の減少47億83百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、概ね予定どおりに推移しており、2025年4月9日の「2025年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	195,721	184,940
受取手形及び売掛金	15,744	20,839
有価証券	9,448	9,119
棚卸資産	91,543	103,171
その他	5,165	7,968
貸倒引当金	△122	△117
流動資産合計	317,500	325,921
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	44,382	49,346
減価償却累計額	△24,311	△24,304
建物及び構築物(純額)	20,070	25,042
工具、器具及び備品	25,877	24,984
減価償却累計額	△21,177	△20,209
工具、器具及び備品(純額)	4,700	4,775
土地	22,147	22,927
建設仮勘定	900	834
その他	441	339
減価償却累計額	△403	△304
その他(純額)	37	35
有形固定資産合計	47,855	53,614
無形固定資産		
商標権	40	30
ソフトウェア	3,190	2,842
のれん	127	111
その他	708	786
無形固定資産合計	4,066	3,769
投資その他の資産		
投資有価証券	18,252	19,200
関係会社株式	9	9
長期貸付金	108	97
敷金及び保証金	27,441	26,470
退職給付に係る資産	222	173
繰延税金資産	2,704	2,696
その他	581	607
貸倒引当金	△18	△17
投資その他の資産合計	49,302	49,238
固定資産合計	101,224	106,622
資産合計	418,725	432,543

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,518	34,396
短期借入金	2,020	4,422
未払法人税等	10,375	6,845
契約負債	1,002	1,022
賞与引当金	1,217	2,073
引当金	315	257
資産除去債務	172	170
設備関係支払手形	809	1,229
その他	10,902	11,770
流動負債合計	47,333	62,188
固定負債		
退職給付に係る負債	3	136
資産除去債務	640	634
その他	999	1,016
固定負債合計	1,643	1,787
負債合計	48,977	63,976
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	19,972	19,972
資本剰余金	24,114	24,114
利益剰余金	297,854	301,647
自己株式	△4	△4
株主資本合計	341,938	345,730
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,954	5,881
為替換算調整勘定	19,434	14,650
その他の包括利益累計額合計	25,389	20,532
非支配株主持分	2,420	2,304
純資産合計	369,747	368,567
負債純資産合計	418,725	432,543

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
売上高	96,215	97,698
売上原価	46,025	46,437
売上総利益	50,190	51,260
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,091	1,117
広告宣伝費	1,770	1,829
保管費	738	685
役員報酬及び給料手当	8,518	8,683
賞与	0	1
賞与引当金繰入額	859	916
退職給付費用	194	239
法定福利及び厚生費	1,322	1,342
地代家賃	9,157	9,384
減価償却費	1,367	1,458
水道光熱費	664	663
支払手数料	2,790	2,797
租税公課	555	557
のれん償却額	33	15
その他	2,715	2,809
販売費及び一般管理費合計	31,782	32,503
営業利益	18,408	18,757
営業外収益		
受取利息	271	222
受取配当金	111	83
為替差益	178	—
賃貸収入	236	242
広告媒体収入	8	8
その他	107	108
営業外収益合計	914	665
営業外費用		
支払利息	3	13
為替差損	—	207
賃貸費用	124	131
その他	12	8
営業外費用合計	140	360
経常利益	19,183	19,062

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
特別利益		
固定資産売却益	1	7
特別利益合計	1	7
特別損失		
固定資産除却損	111	48
減損損失	14	36
その他	7	—
特別損失合計	134	84
税金等調整前四半期純利益	19,051	18,984
法人税、住民税及び事業税	5,910	5,996
法人税等調整額	△45	△20
法人税等合計	5,864	5,975
四半期純利益	13,186	13,009
非支配株主に帰属する四半期純利益	79	55
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,107	12,953

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
四半期純利益	13,186	13,009
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	294	△72
為替換算調整勘定	2,456	△4,955
その他の包括利益合計	2,751	△5,027
四半期包括利益	15,938	7,981
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,796	8,097
非支配株主に係る四半期包括利益	141	△115

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取り扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」等の適用)

「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第46号 2024年3月22日)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、本実務対応報告第7項を適用しているため、当四半期連結財務諸表においては、グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等を計上しておりません。この結果、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	68,126	28,089	96,215	—	96,215
セグメント間の内部 売上高又は振替高	295	27	323	△323	—
計	68,422	28,116	96,539	△323	96,215
セグメント利益	16,180	2,215	18,396	12	18,408

(注) 1 セグメント利益の調整額12百万円はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	72,436	25,262	97,698	—	97,698
セグメント間の内部 売上高又は振替高	278	836	1,115	△1,115	—
計	72,714	26,099	98,813	△1,115	97,698
セグメント利益	17,645	1,074	18,719	37	18,757

(注) 1 セグメント利益の調整額37百万円はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	1,528百万円	1,547百万円
のれんの償却額	33	15